

津消防タイムズ

No.59 (最終号)

編集・発行／津市消防本部消防総務課企画調整担当

平成29年3月1日発行

所在地／〒514-1101 津市久居明神町 2276 番地

☎059-254-0353

FAX059-256-7755

火災の問い合わせ

☎059-224-1881

三重県救急医療情報センター
コールセンター
☎059-256-1199津市救急・健康相談
ダイヤル 24
☎0120-840-299

高田本山専修寺で消防訓練



昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建築物であった法隆寺（奈良県生駒郡斑鳩町）の金堂から出火し、世界的な至宝と言われた金堂の壁十二面に描かれた仏画の大半が焼失しました。これをきっかけに、文化財を火災等の災害から守ろうという世論が高まり、昭和30年に文化財保護委員会（現在の文化庁）と国家消防本部（現在の消防庁）が、法隆寺金堂の焼損した日である1月26日を『文化財防火デー』と定め、以来、全国的に文化財防火運動が展開されています。

津市内においても多くの文化財があり、各地域で関係者や地域住民に対し、初期消火訓練や文化財の搬出訓練等を実施しています。

その中でも、『真宗高田派本山 専修寺』（津市一身田町）には、国の重要文化財に指定されている全国屈指の木造建築物である『御影堂』や、国宝として指定されている法宝物など多くの文化財が収められています。

今年もこの貴重な文化財を火災から守るため、平成29年1月24日に寺関係者、地域住民及び消防職団員等の総勢約140名、消防車両12台が参加し、地域ぐるみで消防訓練が実施されました。訓練内容は、通報及び物品搬出訓練、初期消火及び救出救護訓練、延焼防止及び火災防ぎょ訓練、救急搬送訓練で、その中でも、梯子車からの放水は訓練中一番の見どころとなっており、放水が始まると歓声が上がっていました。これを機に、文化財への関心を高めていただければと思います。

（北消防署 森川悦一）

消防出初式を開催

(消防総務課 草深洋成)

平成29年1月8日、毎年恒例の津市消防出初式が河芸公民館で開催されました。

式典は国会議員等多数の御来賓の方々を迎え、消防団員やその家族に対しての表彰が行われ、屋外会場でも、市民の方々と短い時間ではありましたが、消防車両での写真撮影などが行われていました。

残念ながら次第に悪天候となり、第2部の木遣り披露、消防音楽隊演奏及び分列行進、第3部のちびっこ消防隊訓練、消防操法訓練及び一斉放水など、第2グラウンド周辺でのイベントは中止となりましたが、消防関係者は今年1年の防火に対する決意を新たにしていました。



一人前の救急隊員を目指して

(救急課 藪内裕司)

平成28年度の消防学校初任科教育を修了した11名に対し、就業前基礎研修の一環として救急業務についての研修が行われました。

この研修は、消防学校で学んできた基本的な事項を踏まえ、即戦力の救急隊員に一刻も早くなれるよう実際の現場活動における行動要領や活動後に処理すべき事務などの実務要領を理解させることを目的としています。

今後、各所属での訓練や病院実習等を経て、少しでも早く、市民の皆様にご信頼される一人前の救急隊員として活躍していることを期待します。



猛勉強中！

(中消防署 藤本 卓)

中消防署では2名の職員が救急救命東京研修所へ派遣され、救急救命士の資格取得に向けて日々勉強をしています。

半年間という限られた期間内であるため、朝から晩まで『缶詰状態』で救急救命士としての知識と技術を頭に叩き込まれます。ここで培った知識と経験が救急救命士人生の基礎になります。平成28年度に津市消防本部から救急救命東京研修所へ派遣された3名の職員は、救急救命士の資格取得のために不撓不屈の精神で臨んでいます。

この3名の背中を見て、新たに救急救命士を目指す職員が現れてくることでしょう。



ニュー活動服、始動

(西分署 内藤貴人)

24時間着用している活動服ですが、大きな仕様の変更がありました。

主な変更点としては、上衣前部がボタンからファスナーになり、胸ポケット及びズボンの横ポケットにファスナーが付き、背中中のオレンジ部分に白のラインが入るなど、どこか近代的な雰囲気が漂う活動服になりました。

この仕様変更により、活動服の着脱に要する時間が短縮されるなど、機能性と機動性がアップしましたので、心機一転、訓練にも災害出動にも、より一層身を引き締めて取り組んでいきたいと思えます。



山で道に迷ったら

(安濃分署 山口敬正)

健康維持のため、山歩きや登山を楽しむ人が増加していますが、道迷いや滑落による負傷などが津市内でも年々増加傾向にあります。もし道に迷った場合は、引き返すことが大原則です。

また、道に迷った場合は沢を下りがちですが、これは避けた方がよいとされています。滑って負傷しやすいことや、崖や滝や堰堤を無理やり下ろうとして転落する事故が後を絶たないことがその理由です。

逆に推奨されるのが、ピークや尾根に上がるのだそうです。視界が開けて現在地が確認しやすいことと、登山道はピークや尾根を通っていることが多いので、登山道を発見しやすいことがその理由です。

しっかりした装備品も忘れず、山岳ライフを楽しんでください。



河芸方面団秋期訓練

(河芸分署 前川 暁)

平成28年10月30日、河芸第1グラウンドにおいて河芸方面団秋期訓練が行われました。

訓練内容は、通常点検、機械器具点検、小型ポンプ操法競技会が実施され、そのうち小型ポンプ操法競技会では、第1分団から第4分団の各分団ごとに競技会形式で操法を行い、タイムと総合審査で順位を競いました。

河芸方面団は、平成26年度に県の小型ポンプ操法の部で香良洲方面団とともに津市の代表として操法大会に出場し、第2位の成績を収めており、各団員はその時の練習を思い出しながら、今回の競技会に臨まれたのではないかと思います。

今後も地域の安全・安心のため、一緒に士気を高めあっていきたいと思います。



経ヶ峰山岳救助訓練

(芸濃分署 宮下久志)

平成28年10月31日、経ヶ峰において山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、近年の登山ブームもあり経ヶ峰に登山する人が増加していること及び昨年度遭難事案があったことを踏まえ、登山ルートの確認、登山経路での通信状況の確認、及び遭難者の捜索・救助要領の確認を目的に実施しました。訓練想定は、笹子ルート付近で成人男性2名が遭難したというものです。

登山開始から約一時間後、遭難者2名を発見し、山小屋まで誘導し終了しました。そのあと頂上で休憩したのですが、素晴らしい景色とおいしい空気に訓練の疲れが癒されました。

この訓練の成果を今後の消防活動に役立てるとともに、定期的に体力錬成し長時間活動できる体づくりを今後も行っていきます。



のべの幼稚園防火パレード

(久居消防署 津幡 創)

平成28年12月9日、のべの幼稚園の年長児で結成する、のべの幼稚園幼年消防クラブ鼓隊94名が、防火パレードを行いました。久居消防署の消防車も毎年パレードに参加しています。

園児たちは、先導車から流れる音楽に合わせて、太鼓をたたいたり、掛け声を出したりしながら、幼稚園の周囲を約1時間かけて「火の用心」を元気よく呼びかけました。

パレードは昭和55年頃から始まったもので、子どもたちに火災予防の大切さを教えるとともに、街の人にも防火意識を高めてもらうよう働きかけることを目的として、地域に根付いた行事になっています。

今後もこのような催しに出向し、火災予防の啓発や消防行政への理解を得たいと思います。



新人消防職員教育

(久居消防署 小野剛志)

「前方よし、ホース延長!」、「放水始め!」。毎日のように大きな声が響いています。

平成28年度津市消防職員採用の新人職員11名が三重県消防学校の消防職員第53期初任科及び救急標準課程(平成28年4月7日~同年12月6日までの期間)を修了卒業し、津市内の各消防署に配属されて勤務をしています。

久居消防署にも4名の新人職員が配属されており、毎日様々なことを学び、厳しい訓練も行われています。消防学校とはまた違う生活が始まり、戸惑いながらも先輩職員にもまれながら、一日も早く一人前の消防士になろうと毎日頑張っています。



スケルトン In 南分署

(南分署 小菅英昭)

『スケルトン』。動物や人間の全体的骨格、骨組みや内部が見えるデザイン様式、透明な状態等、たくさんの意味がありますが、今回は事務所のエアコンについて紹介します。

事務所には3台もありますので常に超快適!・・というわけにはいきません。両端の二台は寄る年波に勝てず引退して中央の一台が救世主として活躍中です。見て下さい、この配管を含めたむき出し感を。

本来、目に見えるのは一番下の面だけだそうですが、本体が大きいので撤去が難しいのと天井裏には別の配線がたくさんあるため、このように設置されたみたいです。見上げると改めて大きい(分厚い)と感じます。おかげさまで今、私達は快適に過ごすことができます。大切に使用していきたいと思えます。



もしものための消火栓

(美里分署 前川敦史)

3月に入りまだまだ寒く空気が乾燥して、火災が起こりやすい時期ですが、消火活動に欠かせないのが消火栓です。

皆さんは、家の近くの消火栓がどこにあるか分かりますか?

消火栓の蓋(ふた)は、四角いものもあれば丸いものもあります。さらに、津城の藩主・藤堂高虎公が愛用していた兜をベースに、消防隊員が火災現場で使用する空気呼吸器の面体を着装した状態を図案化し、正義感と勇猛果敢な消防隊員をイメージしたものもあります。一度、意識をもって消火栓蓋を眺めてみてください。

なお、道路交通法により、消火栓から5メートル以内は駐車禁止になっていますので御協力ください。



女性消防団員による街頭啓発活動

(香良洲分遣所 水平 拓)

平成28年12月11日、マックスバリュー香良洲店において津市消防団香良洲方面団の女性団員6名が街頭啓発活動を行いました。

この活動は、暖房器具等で火を取り扱う機会が多く、また空気が乾燥し火災が発生しやすくなるこの時期に火災予防を呼び掛けることを目的として毎年行われています。

啓発活動に参加した女性消防団員は、「こうした啓発活動で地域住民の防火に対する意識が少しでも高まれば」と話し、今後も継続して実施するとの事です。

香良洲方面団の女性消防団員は、この他にも高齢者、独居老人宅の防火診断や地域住民に対する救急指導などの活動を積極的に実施しており、地域住民の防火意識向上に努めています。



航空自衛隊合同訓練

(白山消防署 松田高志)

平成28年10月26日、津市白山町大原地内にある、航空自衛隊白山分屯基地内にて航空自衛隊白山分屯基地消防隊及び津市消防団白山方面団・美杉方面団との合同訓練を実施しました。

これは、自衛隊及び白山方面団・美杉方面団との連携でデジタル無線機を活用し基地内の調整池から火点までの約600mもの遠距離を中継送水態勢により迅速かつ適切な消火活動を行うことができるようにするための訓練でした。また女性消防団員は、今年度総務省消防庁から無償貸与されている多機能訓練車を使用し、積載されている救助資器材等の取扱訓練を実施しました。

肌を刺すような冷たい風が吹く中、迅速に活動する様子や、自衛隊員と消防団員が一丸となって協力し訓練に取り組む姿を見て、今後の更なる消防団の活動に期待が高まりました。



初心忘れるべからず

(一志分署 大野 学)

一志分署の玄関に置かれている一台のポンプ。

明治時代に活躍していた腕用（わんよう）ポンプを職員が手入れをし、新庁舎の玄関にて展示してあります。来客者がこのポンプはいつの時代の物ですか？との質問があれば、職員が丁寧に説明しています。

消防の歴史がわかる資料として展示する一方で、我々職員が偉大な諸先輩方が使用し、活躍していた腕用ポンプを展示することにより、初心を忘れずに職務を遂行していく励みにもなっています。

諸先輩方の技術を伝承し、基本に忠実な現場活動を実行することがわれわれの職務であり、この腕用ポンプが私たちに「初心忘れるべからず」と訓示しているように感じています。



見つけた物は・・・

(美杉分署 谷内正明)

旧美杉総合支所取り壊しによる不使用備品を譲り受けに行った時のことです。

ふと目を向けた先に表彰楯が飾られており、そこには『内閣総理大臣賞 防災の日表彰記念 美杉村消防団殿 昭和58年9月1日』と記載されていました。9月1日の防災の日に執り行われる内閣総理大臣表彰には、災害現場で顕著な功績があった団体に贈られるとの項目があります。

気になった私は、受賞前年に何かあったのかと調べてみたところ、昭和57年8月1日に日本各地で甚大な被害をもたらした台風10号により、三重県内でも当時の美杉村、隣接する嬉野町、松阪市を中心に被害を受け、死者24名のうち18名、建物の全半壊174棟のうち131棟がこの3市町村で発生したとのことでした。その中で美杉村消防団は降りしきる豪雨に立ち向かい、必死に救助、避難活動を行い、物的被害は他の2市町と変わらないものの電力会社の職員1名が土砂災害で犠牲になった他は、住民に死者を出さなかったとの記述を見つけました。

この事案に対しての受賞であったのかどうかまでは判明しませんでした。私は思いました。美杉分署が出来るずっと昔、消防団の使命を全うするため、災害に立ち向かった美杉村消防団という戦士達が出たということ、そしてその意志を引き継いだ美杉方面団と共に美杉町を守ろうと。

現在この表彰楯は、美杉分署の消防団幹部会議室で輝いています。



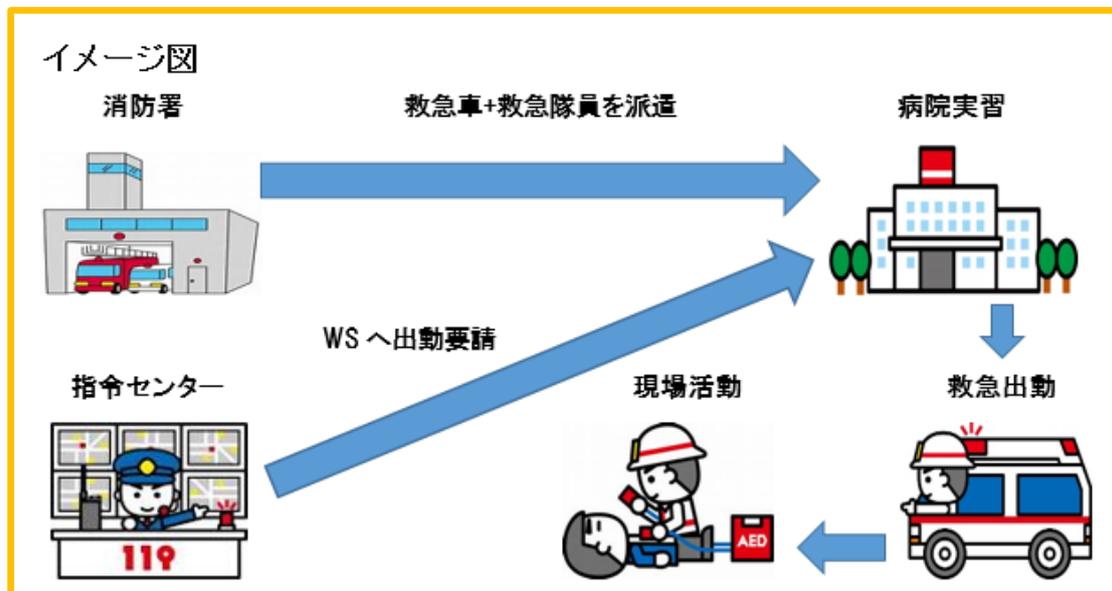
救急ワークステーション運用開始

救急課

近年、救急需要の高まりとともに、より迅速かつ高度な救急対応が求められています。このことから、病院に救急隊を派遣し当該病院を拠点に活動する救急ワークステーション(WS)事業が全国的に採用されつつあります。本市においては、平成28年6月から当事業を運用開始し、救急隊員の知識・技術の一層の充実を図っております。

【事業内容】

救急隊員の病院実習の一環として、救急車と救急隊員を三重大学医学部附属病院救命救急センターに派遣し、実習を受けつつ救急要請があれば救急出動に対応します。また、状況に応じて医師が同乗し救急隊への指示・指導、必要な処置を行います。



【運用体制】

毎週、火曜日と水曜日の午前9時から午後6時まで、各消防署からローテーションで人員の派遣を行い、3名体制で勤務します。救急車の運用は、指令センターがWSからの出動が効率的と判断した場合に出動をします。病院内では、救急隊員の処置に関する指導を受けるものとし、カンファレンス等に参加することで医学的知識の習得に努めます。

【事業の効果】

- ① 病院実習中に救急出動態勢が確保されることにより、管内の出動救急隊が1隊増えるため重複救急時の現場到着時間短縮が期待できます。
- ② 医師が同乗し出動することで、重篤患者への直接対処が可能となり、救命率の向上に繋がります。
- ③ 救急隊と医師の救急活動時における連携がよりスムーズに行うことができます。

今後とも、行政・地域・医療機関と連携を深め、救急医療体制の更なる充実強化を図ってまいりますので、皆様の御理解と御指導をよろしくお願い申し上げます。

一刻を争う消火や救急・救助活動の始動のために

「119番通報」のかけ方！

通信指令課

昨年の津市内における119番通報件数は、22,080件にもものぼっており、もしかしたら、あなたも通報する場面に遭遇するかもしれません。

国民の生命・財産を守る消防活動の迅速、確実性を確保するには、皆様からの的確な119番通報が不可欠になってきます。そこで、当然知っているという方や過去に119番通報を経験した方もみえるとは思いますが、あらためて確認する点も含め、119番通報の流れを記載します。

まず、最初に「火事ですか？ 救急ですか？」の質問から始まり、全ての質問をスムーズにお答えいただければ数十秒で済みます。その際、出動指令までの操作も並行して行っていますので、落ち着いて指令員へ情報提供をお願いします。その後の質問内容は以下のとおりです。

【火災の場合】

- ・住所・氏名「正式な住所・名前（世帯主等）を教えてください」
- ・状態「何が燃えているか、逃げ遅れ、ケガ人はいないか」（←この時点で消防車へ出動指令が出ています。）
- ・目標「目標となる建物などから見た方角や距離」
- ・通報者の氏名、電話番号「自分の名前、今かけている電話番号」

【救急の場合】

- ・住所・氏名「正式な住所・名前（世帯主等）を教えてください」
- ・状態「どのような状態か、意識はあるか、呼吸はあるか」（←この時点で救急車へ出動指令が出ています。）
- ・目標「目標となる建物などから見た方角や距離」
- ・通報者の氏名、電話番号「自分の名前、今かけている電話番号」

以上のような情報を順番にお聞きしていきますが、通報内容から心肺停止状態であることがわかった場合、傷病者への気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫（心臓マッサージ）をお願いする場合があります。これは救急隊到着までの命を守る重要な処置でありますので、指令員の指示に従った行動をお願いします。また、適切な病院搬送につながる情報として、傷病者の年齢、持病、かかりつけの病院などについてお尋ねする場合がありますので、御理解と御協力をお願いします。

以上のことを念頭において、適切な119番通報に御協力いただきますようお願いいたします。



▲指令センターでは消防車両の現在地が把握でき、最寄りの車両に出動指令を出します

住宅用火災警報器は設置されていますか？

消防安全課



住宅火災で死者が発生した原因で最も多いのが【逃げ遅れ】によるもので、これを未然に防ぐためのものが「住宅用火災警報器」です。

住宅用火災警報器の設置率は、全国平均81.2%で適切な場所に取り付けられているのが全国平均66.5%です。

住宅用火災警報器の設置率及び適切な場所への設置率100%を目指して、大切な命を火災から守りましょう。

また、設置の義務化から10年が経過するため、電池切れになるものも出てきますので、定期的に作動確認するとともに、異常があれば交換しましょう。

- 点検方法・・・【点検ボタンを押す】又は【点検紐を引く】ことで《警報音》か《音声》が鳴れば正常です。
- お手入れ・・・ホコリによる誤作動防止のため清掃しましょう。
- 電池切れ・・・本体と電池を別にして、適切に処分してください。

住宅用火災警報器の【設置場所】【設置位置】【種類】

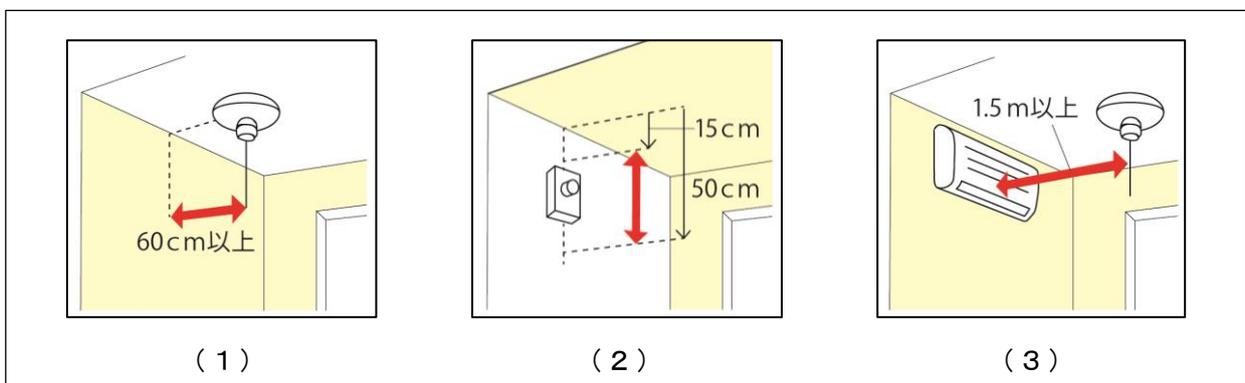
1 設置場所と種類

義務設置…【寝室】及び寝室が1階以外にある場合は【階段の上端】に【煙式】の住宅用火災警報器が義務付けられています。

設置推奨…【台所】に【熱式】の住宅用火災警報器の設置を推奨しています。

2 設置する位置

- (1) 天井の場合、壁から60cm以上離す。
- (2) 壁の場合、天井から15cm～50cmの間に設置。
- (3) エアコンからは150cm以上離す。



3 種類

- (1) 煙式
煙を感知すると作動します。
- (2) 熱式
一定の温度以上になると作動します。

平成28年の火災・救急・救助状況

【火災】

平成28年中の市内における火災件数は112件で、前年に比べ5件の減少となりました。火災の種別でみると、建物火災は41件で、そのうち住宅火災は33件でした。

また、火災による死者は3人で、全て住宅火災によるものでした。

住宅火災については、2件の増加となっておりますが、中には住宅用火災警報器が火災を感知し、初期消火に成功したという事例がありました。大切な命と財産を守るためにも住宅用火災警報器を設置しましょう。

区 分	平成28年	平成27年	増減
火災件数合計	112	117	▲5
建物火災	41	60	▲19
うち住宅火災	33	31	2
林野火災	2	5	▲3
車両火災	15	16	▲1
船舶火災	0	0	0
その他の火災	54	36	18
死者（人）	3	3	0
うち住宅火災	3	3	0
負傷者（人）	12	15	▲3

▲は減を示す

【救急】

平成28年中の市内における救急出動件数は14,716件で、前年に比べ410件の増加となり過去最高の出動件数となりました。前年と比較し、急病の増加がみられました。

事故種別でみると、例年同様急病が9,204件で最も多く、次いで一般負傷の2,219件、交通の1,291件の順でした。

また、傷病程度では、全体の約半数が軽症者で占めており、この中にはタクシー代わりとみられる救急事案も散見されました。

区 分	平成28年	平成27年	増減	
出動件数	14,716	14,306	410	
搬送件数	13,405	12,969	436	
搬送人員（人）	13,591	13,128	463	
主な事故種別 (出動件数)	急病	9,204	8,969	235
	一般負傷	2,219	2,324	▲105
	交通事故	1,291	1,290	1

▲は減を示す

【救助】

平成28年中の市内における救助出動件数は137件で、前年に比べ32件の増加となりました。

事故種別でみると、最も多かったのが交通事故の81件で、全体の59%を占めました。

また、11件発生した建物等による事故は、施錠された建物内で、自力で脱出（解錠）できない人を救助したなどです。

区 分	平成28年	平成27年	増減	
出動件数	137	105	32	
活動件数	75	57	18	
救助人員（人）	85	61	24	
主な事故種別 (出動件数)	交通事故	81	66	15
	火災	1	1	0
	水難事故	10	9	1
	建物等による事故	11	13	▲2

▲は減を示す

【119番通報】

平成28年中における119番通報の受理件数は、22,080件で、前年に比べ1,129件の減となり、一日当たり約61件の119番通報を受けました。

内訳を見ると、救急通報が14,536件と最も多く、次いで病院案内等によるものが7,079件となっています。

津市管内の救急通報件数は、431件もの大幅な増加となっておりますが、救急搬送の約半数が軽症者の搬送となっており、本当に救急車が必要な重篤な傷病者への対応が後手に回ることが少なくありません。このことから、救急搬送の必要性を問う広報活動等を継続して行っています。

区 分	平成28年	平成27年	増減
119番受報	22,080	23,209	▲1,129
火災	110	102	▲8
救急	14,536	14,105	431
救助	131	91	▲40
警戒・調査	224	232	▲8
病院案内 問合せ いたずら等	7,079	8,679	▲1,600

▲は減を示す

4月1日から消防本部の組織が変わります！

津市消防本部では、増加し続ける救急件数と災害対応の更なる充実、法令違反対象物に対する違反処理業務の確立、及び政策部門の充実を図るため、平成29年4月1日から組織を次のとおり改正します。

1 改正内容

- (1) 消防総務課は、企画調整担当から経理部門を切り離し、企画調整担当を『消防政策担当』とし政策部門を担います。また、総務担当と経理部門を統合し『消防管理担当』とします。
- (2) 消防安全課は、認知度の高い『予防課』と名称を変更するとともに、違反処理業務を充実させるための『違反指導担当』を配置します。
- (3) 救急課、警防室及び消防団統括室は、災害対応の連携を密接にとることが必要であることから、『消防救急課』として一本化とし、それぞれの担当を配置します。

2 組織改正比較表

改正後		現行	
課・室	担当	課・室	担当
消防総務課	消防管理担当(TEL254-0351) 消防政策担当(TEL254-0353)	消防総務課	総務担当(TEL254-0351) 企画調整担当(TEL254-0353)
予防課	設備担当(TEL254-0354) 危険物担当(TEL254-0355) 違反指導担当(TEL254-0356)	消防団統括室 消防安全課	消防団担当(TEL254-1602) 安全指導担当(TEL254-0354) 危険物保安担当(TEL254-0356)
消防救急課	警防担当(TEL254-0357) 消防救助担当(TEL254-1601) 救急担当(TEL254-1600)	警防室	安全管理担当(TEL254-0357) 消防救助担当(TEL254-1601) 救急管理担当(TEL254-1600)
消防団統括室	消防団担当(TEL254-1602)	救急課	救急指導担当(TEL254-1603)
通信指令課	情報管理担当(TEL254-0358) 通信指令担当(TEL254-0119)	通信指令課	情報管理担当(TEL254-0358) 通信指令担当(TEL254-0119)
中消防署(TEL226-2322) 西分署(TEL225-7431) 安濃分署(TEL268-5119) 北消防署(TEL232-3092) 河芸分署(TEL245-0119) 芸濃分署(TEL265-2500) 久居消防署(TEL254-1111) 南分署(TEL234-3512) 美里分署(TEL279-2136) 香良洲分遣所(TEL292-2157) 白山消防署(TEL262-1044) 一志分署(TEL293-0279) 美杉分署(TEL274-0200)		中消防署(TEL226-2322) 西分署(TEL225-7431) 安濃分署(TEL268-5119) 北消防署(TEL232-3092) 河芸分署(TEL245-0119) 芸濃分署(TEL265-2500) 久居消防署(TEL254-1111) 南分署(TEL234-3512) 美里分署(TEL279-2136) 香良洲分遣所(TEL292-2157) 白山消防署(TEL262-1044) 一志分署(TEL293-0279) 美杉分署(TEL274-0200)	

☆ 主な行事予定 ☆

- ・3月1日～3月7日 春季全国火災予防運動
- ・3月12日 上級救命講習（白山消防署）
- ・4月1日 新規採用職員辞令交付式
- ・4月10日 三重県消防学校入校式（鈴鹿市）
- ・4月14日 三重県消防職員意見発表会（鈴鹿市）
- ・4月28日 市長特別視閲
- ・5月17日 前期危険物予備講習会
- ・6月上旬 津市消防団夏期訓練
- ・6月4日～6月10日 危険物安全週間
- ・6月11日 上級救命講習（北消防署）
- ・7月上旬 前期防火管理者講習会

編集後記

突然のお知らせになりますが、「津消防タイムズ」は本号をもって発行を終了することになりました。これまで長年にわたり御覧いただき誠にありがとうございました。

今後は、インターネットを活用して、SNS（Facebook）により各種イベント・講習会・訓練の様子など、「消防タイムズ」と同様の情報をタイムリーに情報発信してまいります。

Facebookへの消防に関する情報は、「津市シティプロモーション情報」に掲載しますので、津市の様々な情報とともに、ぜひご覧いただきますようよろしくお願いいたします。（堀田）

津市消防の情報は Facebook(津市シティプロモーション情報)を御覧ください

 <https://www.facebook.com/tsu.city.promotion>

津消防タイムズは津市ホームページ <http://www.info.city.tsu.mie.jp/> で御覧いただけます。